



端午の節句

旧藏内邸に五月人形、武者絵が勢ぞろい。

2025.

4/24^木

~5/13^火

*水曜日休館

9:30 ~ 16:30

会場 / 国指定名勝 旧藏内邸
福岡県築上町大字上深野396番地
電話 0930-5212530
入場料 / 一般310円・小中学生100円

旧藏内邸

KYUKURAUCHITEI
西岡コレクションⅡ

主催 / 福岡県築上町教育委員会

この印刷物は築城飛行場関連再編関連特別事業で制作しました



岩戸見神社・正光寺(知恵の文殊様) 2日前までに要予約

3 古民家食庵伝法寺庄
(食事処 / 土日営業 / 予約 ☎090-7391-9700)

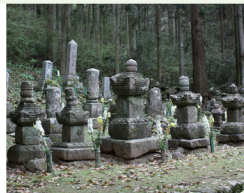
2 本庄の大楠

1 天徳寺

1. 月光山 天徳寺

築城ICから車で約15分

鎌倉時代後期の当主、頼房が開いた宇都宮氏の菩提寺。戦国時代の当主の長甫、鎮房、朝房の供養塔や室町時代の石塔が当時を偲ぶ。かつての本尊の木造釈迦如来像は鎌倉時代の優品。後冷泉天皇から下賜された金銅「三足墨香炉」は寺宝。春は麓の「天神山の大しだれ桜」で賑わう。



2. 本庄の大楠

築城ICから車で約13分

推定樹齢1900年、幹周り20.6m。クスノキでは全国第3位の巨樹。明治34年に火災で大半を消失したが、奇跡的に第一枝から現在の姿まで成長したが、豊前国のご神木として古代から宇佐神宮の式年遷宮の用材を切り出す御船始祭がここで行われた。



3. 岩戸見神社と正光寺

築城ICから車で約12分

岩戸見神社は宇都宮氏が下野国より二荒大明神を分祀し岩戸見大明神として祀った。拝殿の脇には幹回り480cmのイチイガシのご神木がある。正光寺も宇都宮氏が下野国から文殊菩薩を招来して開いた。文殊菩薩は農耕牛を思わせる力強い獅子に座す。仏教の教えを説く仏は智恵の文殊様として信仰があつく、年に一度2月25日と26日にご開帳される。



4. 旧藏内邸

築城ICから車で約10分

宇都宮氏の家臣、藏内氏は江戸時代は地主として、明治時代には筑豊地方などの炭鉱で財をなした。旧藏内邸は藏内家三代の邸宅で、明治39年に主屋と応接間棟と庭園が造営され、大正5年から大増築された。庭に面して巧みに配置された各部屋から明るく開けた池庭園が楽しめる。4月、5月はツツジとサツキが池庭を彩る。



5. 網敷天満宮

推田ICから車で約17分

昌泰4年(901)、菅原道真が大宰府へ左遷され、京都から九州に向かう途中に船が難破し、ここ高塚の浜に漂着した。この時に地元の人々が船の綱を円座に敷いて迎えたことから網敷天満宮と名づけられた。江戸時代は小倉小笠原藩主の保護を受け、連歌や和歌が奉納された。早春の境内には約1000本の梅の花が咲く。

